

# 同 志 社 大 学

## 2014 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015 年 2 月 22 日提出

所 属	職 名	氏 名
高等研究教育機構	助手	望月 詩史
研 究 題 目	戦時期日本の英文雑誌に関する基礎的研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度は上記研究題目について、第一に、1934年に東洋経済新報社から発刊された <i>Oriental Economist</i> に関する基礎的作業を行った。同誌は、国立国会図書館関西館に所蔵されているため、数回に亘り、閲覧・複写を行った。現在は、主に主幹の石橋湛山が執筆した Leading Article や Review of Month を分析中である。第二に、石橋の思想に関する研究を行った。石橋が <i>Oriental Economist</i> の発刊を決意するに至った背景には、彼のナショナリズムが影響していると考えられるからである。その研究成果は、以下の通りである。</p> <p>①論文</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「石橋湛山の 1920 年代における対外論の再検討—二つの使命観を手がかりに—」、『政治思想研究』第 14 号（2014 年 5 月）</li><li>・石橋湛山の対外論が「境遇」（＝時代状況）と共に変化していく点について、「国民的使命観」と「道徳的使命感」の観点から再検討した。</li><li>・「「対米自主」の思想—石橋湛山を中心に—」、出原政雄編『戦後日本思想と知識人の役割』（法律文化社、2015 年）所収</li><li>・戦後における石橋湛山の言説や行動を「対米自主」の観点から検討した。</li></ul> <p>②学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「石橋湛山の「小日本主義」の再検討」、政治思想学会第 21 回研究大会（於関西大学）、2014 年 5 月 25 日</li><li>・「石橋湛山の議会政治論」、第 1 回石橋湛山研究学会（於立正大学）、2014 年 12 月 13 日</li></ul>	